

広島大学放射線健康リスク学夏期セミナー

○講義・実習スケジュール

日程	時間	内容	担当者
8月18日	13:00-13:10	オリエンテーション	粟井
	13:15-14:15	放射線生物学の基礎	田代
	14:30-15:30	放射線防護	権文
	15:45-16:45	放射線災害医療	廣橋
	17:00-18:00	放射線リスクコミュニケーション	粟井
8月19日	9:00-12:00	放射線災害医療実習	廣橋、田代、 粟井

○場所：

広島大学霞キャンパス 研究棟 A 放射線診断学セミナー室

さる 2017 年 8 月 18 日（金曜日）、19 日（土曜日）の 2 日にわたって、広島大学霞キャンパスにて、放射線健康リスク科学 夏期集中セミナーが開催されました。本学としても、医学生対象のセミナーは初めての試みであり参加者が集まるか心配しましたが、長崎大学、山口大学、岡山大学、福島県立医科大学、広島大学の 5 大学より 5 名の医学生、一名の初期研修医の方が参加しました。

1 日目は、「放射線生物学の基礎」「放射線防護」「放射線災害医療」「放射線リスクコミュニケーション」の講義が行われました。少人数の参加者で講師との距離が近いこともあり、親密な雰囲気ながらも講義や実習中は活発な質疑応答が行われました。

2 日目は、「放射線災害実習」で、原爆放射線医科学研究所の廣橋教授および広島大学病院の診療放射線技師の方の指導のもと、GM サーベ-メータの使用法を学んだり、実際にタイベックススーツを着て、放射線災害時の救急医療の基礎について学んだりしました。

2 日とも密度の高い講義および実習で、学生さんからも大変好評でした。



1 日目の放射線災害医療の講義の様子（講師は廣橋教授）



二日目の災害医療実習にて、GM サーベ-メータの使用法を学んでいるところ



二日目の災害医療実習。タイベックススーツに着替えて、患者（シュミレータ）の処置を学んでいるところ。